

2/16

仏滅 月

旬のもの 小松菜(こまつな)

アブラナ科。東京の江戸川区小松川がおもな産地なので、この名がつきました。別名、卯月、鶯菜、冬菜、ともいわれるように、一年中出回っていますが、冬の霜のおりるところから2月ごろにとれたものがもっともおいしく、甘みが増し、アクもなくなります。ビタミン、カルシウム、カリウム、鉄など、ほうれん草に含まれる栄養素に似ていますが、ビタミンB2の量は野菜の中でもトップクラスで、カルシウムの量は、ほうれん草の5倍です。

天気図記念日

1883（明治16）年に日本で初めて天気図が印刷された日を記念して記念日となりました。天気図は、同年3月1日から、正式に印刷・発行されるようになります。最近では、テレビの気象情報等で天気図と気象衛星の画像を重ね合わせたものがよく使用されています。

寒天の日

2005（平成17）年のこの日、テレビの全国放送で寒天が健康食品として紹介され、大ブームになったことに由来し、日本一の寒天の産地である長野県の茅野商工会議所と寒天水産加工業協同組合が制定。天草を原料とし、凍結と融解を繰り返しながら徐々に乾燥させていく天然寒天の製造はこの時期に大詰めを迎えます。

2/17

先勝 火

旬のもの マーコット

ミカン科で原産地はアメリカ・フロリダです。大きさや形は温州みかんに似ていますが、皮がとて薄くて色は赤みがかっています。さわやかな香りを持ち、甘味・酸味が良く調和して風味がきわめて濃厚なミカンです。日本へは1954年（昭和29年）に種子が導入されその後、1961年（昭和36年）に穂木が導入されました。日本では露地栽培には少々気温が低いため、ビニールハウス内の温度で手をかけて栽培されています。ビタミンCが豊富で低カロリーという、うれしいフルーツです。また、袋（じょうのう）についている白い筋には、ビタミンPが多く、動脈硬化防止に効果があります。

天使のささやきの日

1978（昭和53）年のこの日、北海道幌加内町母子里で非公式ながら－41.2度という国内最低気温を記録しました。これを記念して、母子里の有志が最寒の地での暮らしや幻想の世界を体験する「天使のささやきを聴く集い」を開催しています。「天使のささやき」とは氷点下20度以下になると、空中にできる氷の結晶・ダイヤモンドダストのことです。

ツタンカーメン王墓発掘の日

1925（大正14）年、イギリスの考古学者ハワード・カーターがエジプトでツタンカーメン王のミイラを発見。純金製の棺桶とマスクなど3,000点以上の品々が埋葬されていました。発掘後に多数の関係者が謎の死を遂げていることから、ツタンカーメン王の呪いではないかという噂が立ちました。